

作成年月日	令和3年4月6日
作成部局 課室名	農政環境部農政企画局 総合農政課

「ひょうごの『農』2021」の発行

本県農林水産行政に関する情報を県民へわかりやすく提供するため、令和3年3月に策定した「ひょうご農林水産ビジョン2030」や本県農林水産業の概要、2021年度の重点施策等を取りまとめた「ひょうごの『農』2021」を作成しました。

農林水産業関係者をはじめ、広く県民に提供し、農林水産業や農林水産行政に対する理解の促進を図ります。

1 ひょうごの「農」2021の内容

【第1部】ひょうごの農林水産業の概要

それぞれの地域の気候・風土に根ざした本県の多彩な農林水産業を説明。

【第2部】ひょうご農林水産ビジョン2030概要

「ひょうご農林水産ビジョン2030」のめざす姿、及びめざす姿を実現するための施策の概要を説明。

【第3部】2021年度施策の概要

ひょうご農林水産ビジョン2030の施策体系に沿った、2021年度の重点施策の概要を説明。

2 冊子の体裁及び発行部数

A4版、17ページ、5,000部発行

(主な配布先：農林水産業団体、農林漁業者、消費者団体、県主催行事参加者等)

3 活用方法等

県下各地域で農林水産業に取り組む事業者をはじめ、農林水産物の加工・流通・消費に関わる者が参加する各種会合等において配付し、説明します。

また、電子ファイル版を県のホームページに掲示し、県民に広く提供するとともに、希望者には冊子を送付します。(1人1冊、送料は自己負担)

〈請求方法〉宛先を明記した返信用封筒(角型2号封筒に210円切手を貼付、ただし希望冊数により切手代は変動)を下記へ送付

〈請求先〉〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10-1

兵庫県 農政環境部 農政企画局 総合農政課 農林水産政策班

<問い合わせ先> 農政環境部 農政企画局 総合農政課 農林水産政策班

TEL 078-362-9193

御食国ひょうご

みけつくくに

令和の挑戦

都市近郊の立地を活かした
農林水産業の基幹産業化と
五国の持続的発展





みけつくに 御食国ひょうご 令和の挑戦

都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展

兵庫県知事 **井戸敏三**

県民の「いのち」と「くらし」を支えるひょうごの「農」。新型コロナウイルスの感染拡大は、本県の「農」を取り巻く状況に劇的な変化を及ぼしています。

インバウンドや輸出、外食需要が激減。神戸ビーフや山田錦など、本県を代表するブランド食材を直撃しています。少子高齢化に伴う担い手不足等により、生産基盤の脆弱化や地域活力の低下に直面していた生産者は、コロナ禍でさらなる苦境に立たされています。

生産の下支えや需要喚起に全力で取組とともに、コロナ禍を乗り越えた先にある新たな「農」の姿を描き、その実現に向けた挑戦を始めなければなりません。

変革の兆しはすでに現れています。ドローンによる農薬散布、酪農での搾乳ロボットなど、農林水産業のスマート化を実践する取組が進んでいます。EC（電子商取引）サイトやネット直販を利用し、販売チャネルを多様化することで、経営リスクの軽減を図ろうとする生産者も増えています。さらに、都市に縛られない暮らし方や働き方が浸透し、UJIターンや二地域居住など農山漁村を志向する動きが加速しています。

兵庫県では、新たな時代潮流を踏まえながら、今後10年間の農林水産施策の道筋を示すべく、すべての県民の食と「農」に関する行動指針「ひょうご農林水産ビジョン2030」を策定しました。めざすは、「都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展」です。ひょうご五国の個性や強みを最大限に活かし、令和の新時代にふさわしい「御食国ひょうご」の実現に向け、果敢にチャレンジしていきます。

この冊子は、「ひょうご農林水産ビジョン2030」の概要や、2021年度の農林水産業・農山漁村に関連する施策などを分かりやすくまとめたものです。県民の皆様幅広く手に取っていただき、ひょうごの「農」への理解が深まることを願っています。

目次

第1部 ひょうごの農林水産業の概要	1
1. 多彩なひょうごの農林水産業	1
2. 農林水産業の概要	2
第2部 ひょうご農林水産ビジョン2030概要	5
1. ビジョンの位置付け	5
2. ビジョンの計画期間	5
3. 農林水産ビジョン推進の基本姿勢	5
4. ビジョン見直しのポイント	5
5. めざす姿	6
(ひょうご農林水産ビジョン2030概要)	8
第3部 2021年度施策の概要	10
1. ビジョン2030施策体系と2021年度予算	10
2. 推進方策の概要と2021年度の重点施策	11
3. 2021年度の重点施策	12

第1部 ひょうごの農林水産業の概要

1. 多彩なひょうごの農林水産業

兵庫県は、「日本の縮図」ともいわれるように、北は日本海、南は瀬戸内海及び太平洋に続く紀伊水道に面し、中央部には中国山地が東西に横たわり、高原、平野、島々など広大で変化に富んだ地形と厳寒、降雪、乾燥、温暖という様々な気候が存在するなど、他府県に類を見ない多様な自然環境を有しています。さらに、歴史的に形成されてきた特色ある固有の風土、文化を有する摂津(神戸・阪神)、播磨、但馬、丹波、淡路といった5つの地域で構成されており、多様な自然環境のもと、それぞれの地域の気候・風土に根ざした多彩な農林水産業が営まれています。

生産量で全国順位の上位を占める農林水産物が多く、主なものとして、農産物では、山田錦(酒米)(1位)、丹波黒(黒大豆)(1位)、たまねぎ、いちじく、カーネーション、また、水産物では、シラス(1位)、ホタルイカ(1位)、ハタハタ、ズワイガニ、ノリ養殖、イカナゴなどがあります。

また、神戸ビーフ、明石鯛などは、全国的にも有名なブランドとして知られています。

地域的には淡路地域など農林水産業の盛んな地域を有する一方、人口の多い神戸・阪神地域を有する消費県でもあります。このため、食料自給率(平成30年度)は、カロリーベースでは16%(全国37%)、生産額ベースでは37%(全国66%)と全国よりも低い水準となっています。

全国上位を占める主な農林水産物

項 目	生産量等	全国シェア	全国順位	県内の主な産地	備考(資料)	
米	山田錦[酒米](出荷量)	20,439 t	59.3%	1	播磨地域	農林水産省「令和元年産米の農産物検査結果(速報値)」 ※山田錦出荷量は検査数量ベース
豆	丹波黒[黒大豆](収穫量)	890 t	39.5%	1	丹波・播磨地域	県農産園芸課調べ(令和元年)
野菜	たまねぎ(収穫量)	100,100 t	7.6%	3	淡路地域	農林水産省「令和元年産野菜生産出荷統計」
	レタス(収穫量)	30,100 t	5.2%	5	淡路地域	//
	しゅんぎく(収穫量)	1,410 t	5.2%	6	神戸・阪神地域	//
	はくさい(収穫量)	21,100 t	2.4%	10	淡路地域	//
	キャベツ(収穫量)	29,300 t	2.0%	11	淡路・神戸地域	//
果実	いちじく(収穫量)	1,590 t	12.3%	3	神戸・阪神地域	県農産園芸課調べ(平成29年)
	びわ(収穫量)	183 t	5.3%	6	淡路地域	農林水産省「令和元年産果樹生産出荷統計」
	くり(収穫量)	364 t	2.3%	10	丹波・阪神地域	//
花き	カーネーション(出荷量)	19,400千本	8.7%	4	淡路地域	農林水産省「令和元年産花き生産出荷統計」
	花壇用苗もの類(出荷量)	27,100千本	4.7%	4	神戸・播磨地域	//
畜産物	生乳(生産量)	78,054 t	1.1%	14	淡路・播磨地域	農林水産省「令和元年牛乳製品統計」
	肉用牛(飼養頭数)	55,700頭	2.2%	10	淡路・播磨・但馬地域	農林水産省「令和2年畜産統計」
	鶏卵(生産量)	88,611 t	3.4%	11	播磨地域	農林水産省「令和元年畜産物流通統計」
	ブロイラー(出荷羽数)	12,760千羽	1.8%	12	但馬地域	農林水産省「平成31年畜産統計」
	はちみつ(生産量)	75,863kg	2.6%	14	播磨・阪神地域	農林水産省畜産振興課調べ(令和元年)
水産物	シラス(漁獲量)	14,505 t	24.2%	1	瀬戸内海	農林水産省「令和元年漁業・養殖業生産統計」
	イカナゴ(漁獲量)	1,025t	9.0%	3	瀬戸内海	//
	ノリ養殖(収穫量)	53,093 t	21.1%	2	瀬戸内海	//
	ズワイガニ(漁獲量)	791 t	22.5%	2	日本海	//
	ハタハタ(漁獲量)	1,206 t	22.5%	2	日本海	//
	ホタルイカ(漁獲量)	3,377 t	57.6%	1	日本海	県水産課調べ(令和元年)
	タコ類(漁獲量)	1,283 t	3.6%	2	瀬戸内海	農林水産省「令和元年漁業・養殖業生産統計」
	カレイ類(漁獲量)	1,847 t	4.5%	4	日本海・瀬戸内海	//
	ベニズワイガニ(漁獲量)	1,908 t	14.4%	4	日本海	//
	マダイ(漁獲量)	1,337 t	8.4%	4	瀬戸内海	//
カキ(漁獲量)	7,361 t	4.6%	4	瀬戸内海	//	

2. 農林水産業の概要

農業の現状

① 農業産出額

本県の農業産出額は、1,544億円(全国21位)で、近畿地方(6府県)の32%を占めており、京阪神都市圏の食料生産基地として重要な地位にあります。

農業産出額の構成比を見ると、米(31%)、野菜(23%)、畜産(39%)で全体の約93%を占めており、全国と比べると米の比率が高くなっています。

② 総農家数

総農家数は、81,416戸(全国3位)で、そのうち販売農家の占める割合は58%と全国(62%)を下回っています。さらに、販売農家のうち専業農家が占める割合は23%で全国(33%)より小さく、一方、第2種兼業農家の割合は68%と全国(54%)よりも大きくなっています。

③ 農業就業人口

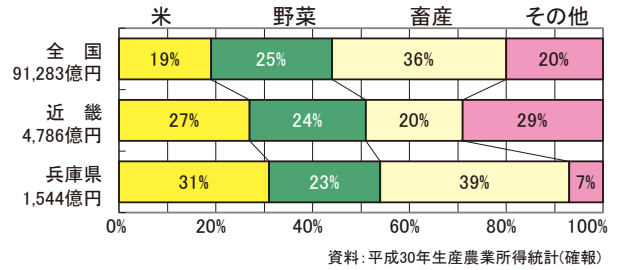
農業就業人口は、65歳以上が73%を占め、販売農家の平均年齢は、68.9歳と全国(66.4歳)よりも高く、高齢化が進行しています。

④ 耕地面積

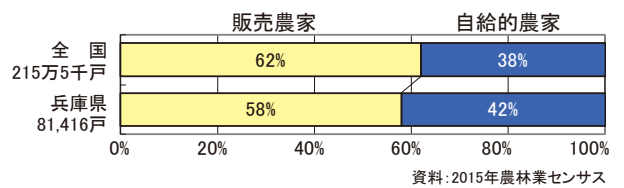
耕地面積は、73,000ha(全国18位)です。そのうち水田面積は67,200ha(全国13位)で、耕地全体に占める割合は全国(54%)と比べると極めて高く、92%となっています。

また、降水量の少ない瀬戸内地域や淡路地域を中心に、ため池が数多く築造されており、農業用水の約半分はため池に依存しています。

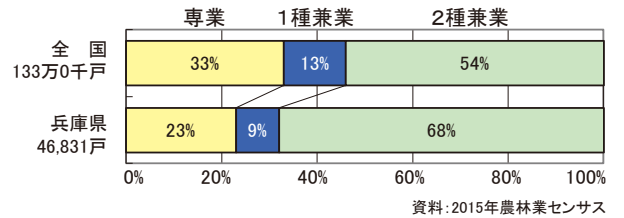
農業産出額の構成比(平成30年)



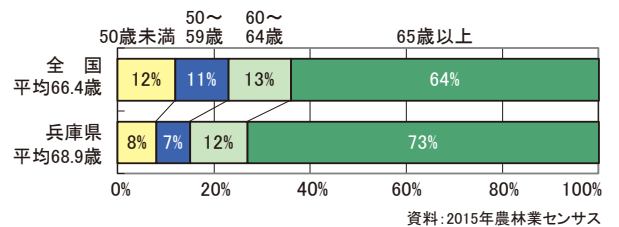
農家の構成比(平成27年)



販売農家の構成比(平成27年)



販売農家の農業就業人口の年齢構成比(平成27年)



畜産業の現状

① 畜産業産出額

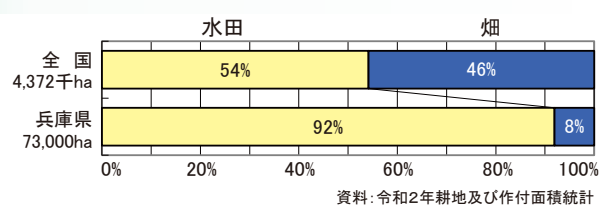
本県の畜産業の産出額は、604億円で、近畿地方(6府県)の61%を占めています。家畜別では、肉用牛が184億円、乳用牛が115億円、豚が14億円、鶏が289億円となっています。

② 飼育状況

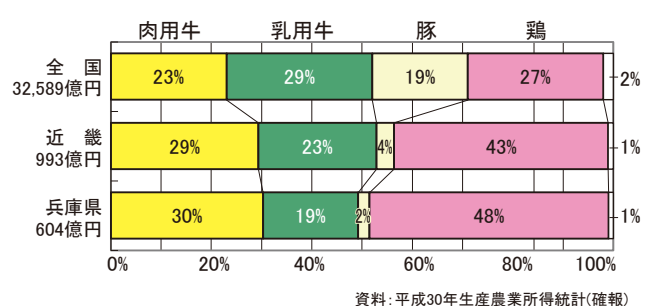
家畜の飼育状況は、肉用牛が55,700頭(全国10位)、乳用牛が13,200頭(全国15位)、豚22,100頭(全国38位)、採卵鶏が572万羽(全国13位)、肉用鶏が244万羽(全国13位)となっています。

肉用牛は県下全域で飼育されていますが、そのうち繁殖雌牛は52%が淡路地域で、27%が但馬地域で飼育されています。乳用牛は36%が淡路地域で飼育されており、採卵鶏は84%が播磨地域で、肉用鶏は69%が但馬地域で飼育されています。

耕地面積の構成比(令和2年)



畜産業産出額の構成比(平成30年)



林業の現状

①森林面積

本県の森林面積は、560,148ha(全国14位)で、県土に占める森林の割合は全国とほぼ同じ67%ですが、そのうち、個人や集落が所有している私有林は530,066haで、その割合は95%と全国と比べて極めて高い状況です。

また、私有林の42%(221,418ha)をスギ、ヒノキ等の人工林が占めており、そのうち、伐採して利用が可能とされる46年生(10齢級)以上の森林が73%を占めています。

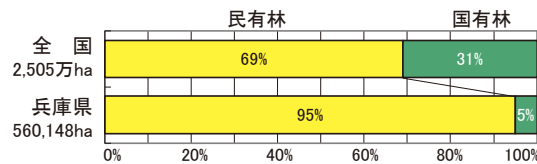
②林業労働者

県内林業労働者数は、平成30年度末現在794人で、減少傾向は続くものの、50歳未満の労働者数は、平成5年度の276人から平成30年度には455人へと増加し、年齢構成が若返ってきています。

③林業産出額

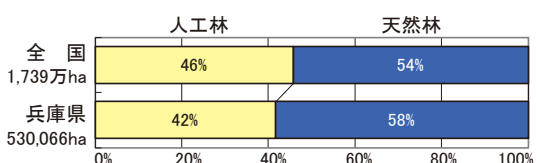
林業産出額は、37.9億円と、このうち木材生産は25.9億円(68%)であり、針葉樹の産出額が95%を占めています。また、栽培きのこ類は9.0億円(24%)で、このうち、生しいたけが84%を占めています。

森林の構成比(平成30年)



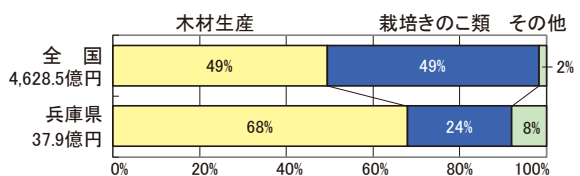
資料:兵庫県調べ(平成31年3月末数値)
※全国数値は平成29年3月末

私有林の構成比(平成30年)



資料:兵庫県調べ(平成31年3月末数値)
※全国数値は平成29年3月末

林業産出額の構成比(平成30年)



資料:農林水産省調べ(平成30年数値)

水産業の現状

①漁業産出額

本県の漁業産出額は、523億円で、全国8位(シェア3.7%)に位置するとともに、近畿地方(6府県)の71%を占めています。

②日本海の特徴

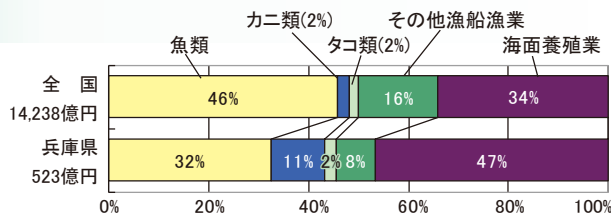
日本海では、冬季風浪が厳しく、浅海域が少ないことから、19~125tの大型船による沖合漁業が中心で、ズワイガニ、ホタルイカ、ハタハタ、カレイ類、ベニズワイガニなどが漁獲されています。

③瀬戸内海の特徴

瀬戸内海では、比較的水深が浅く、波浪が穏やかなことから、10t未満の小型船による沿岸漁業が中心となり、タコ、マダイ、シラス、イカナゴなどが漁獲されています。また、ノリやカキ等の養殖業も盛んで、特にノリ養殖の生産額は200億円と瀬戸内海の漁業産出額の47%を占めています。

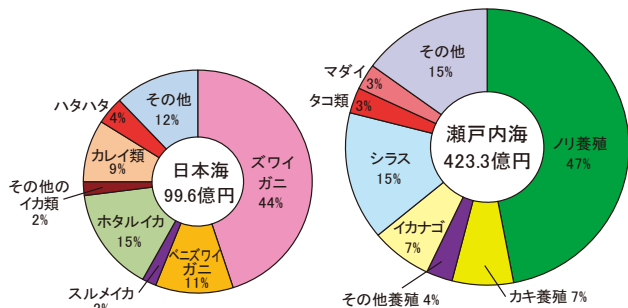
シラス、ホタルイカが全国1位、ハタハタ、スズキ類が同2位など、生産量が全国順位の上位を占める水産物も多く、重要な地域資源として各地域の活性化に寄与しています。

漁業産出額の構成比(平成30年)



資料:農林水産省調べ(平成30年数値)
※産出額には捕鯨業及び内水面分含まず

海域別の漁業産出額の構成比(平成30年)

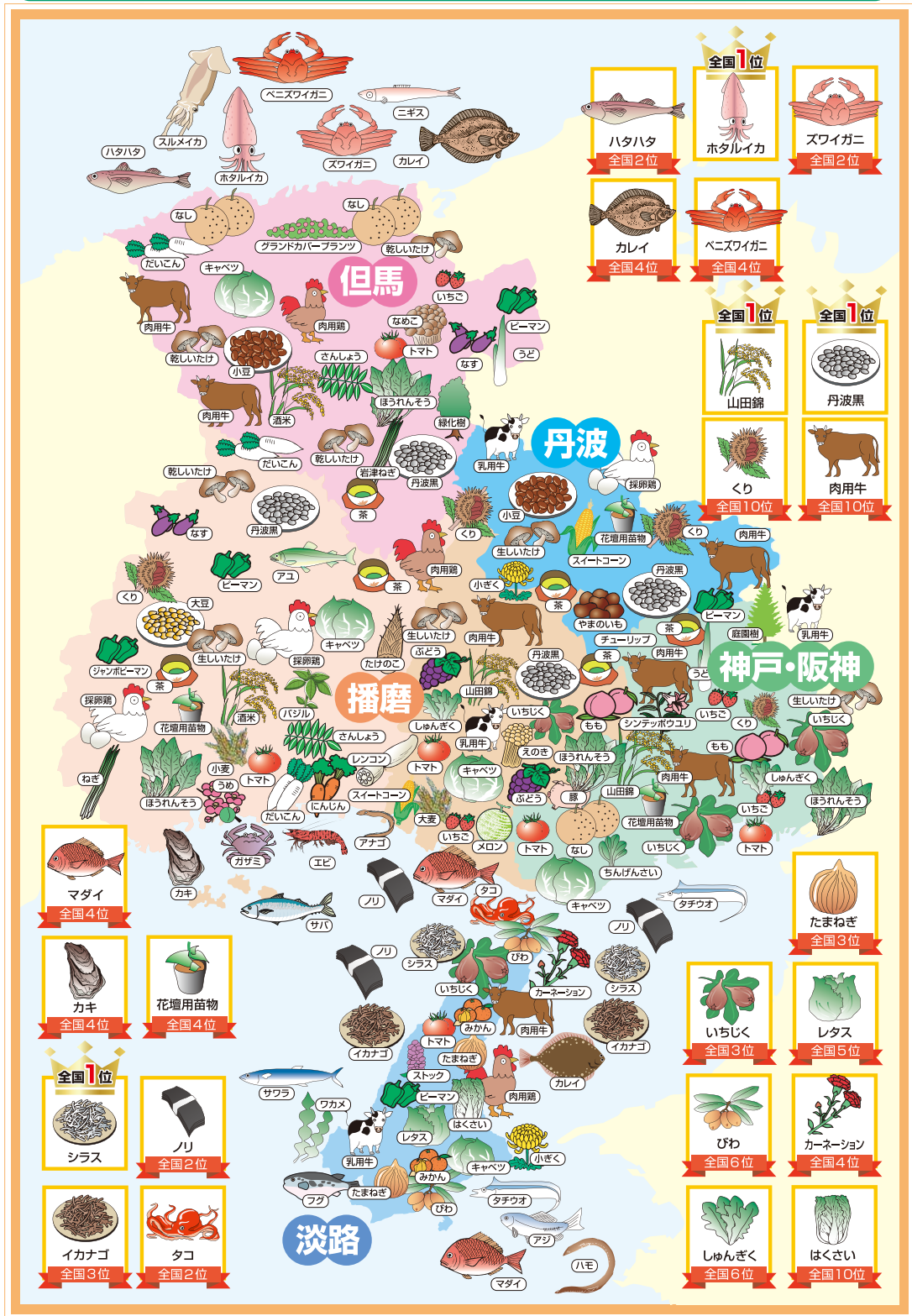


資料:農林水産省調べ(平成30年数値)

多彩なひょうごの農林水産物マップ

第1部

ひょうごの農林水産物の概要



「農」とは

土を耕し、森を育て、豊かな海を守り、食料をはじめ人々の生活を支える様々なものを産み出す農林水産業の営み、その営みを通じた生物多様性などの環境保全や洪水防止、水源かん養等の多面的機能により県民の「いのち」と「くらし」を支えるもの。

さらには、人々の生活の場である農山漁村とそこに育まれた伝統・文化、豊かで美しい景観など、広く農林水産業・農山漁村を捉えた概念。

第2部 ひょうご農林水産ビジョン2030概要

1. ビジョンの位置付け

本県農林水産行政推進の基本となる計画的かつ総合的な指針です。

また、農林水産業従事者のみならず、農山漁村や都市で暮らす人々などの県民、さらにインバウンドによる観光旅行者等、本県の食と「農」に関わるすべての人々を対象とした行動指針です。

2. ビジョンの計画期間

このビジョンの計画期間は、令和3年度から令和12年度(2030年度)までの10年間とします。

3. 農林水産ビジョン推進の基本姿勢

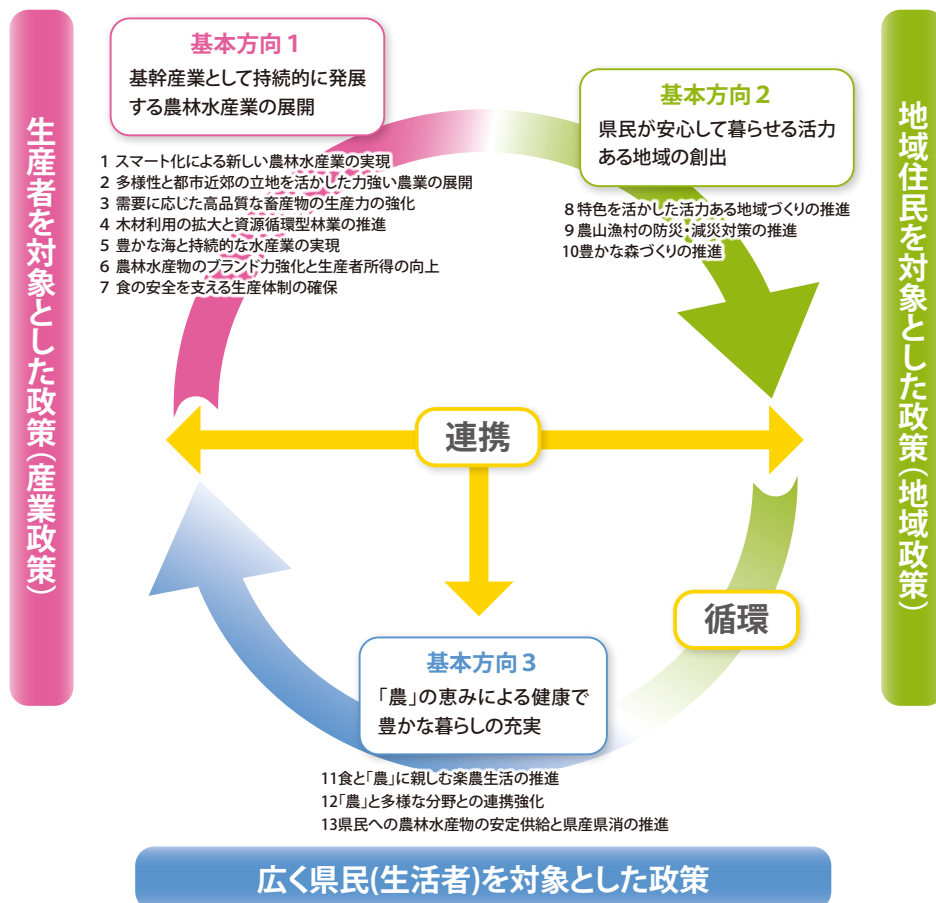
ビジョン推進の基本姿勢を「県民の参画と協働」とし、「施策の計画立案(Plan)→アクションプランに基づく施策の展開(Do)→ひょうごみどり白書による評価・検証(県民とともに点検(Check))→改善(新たな施策の企画立案(Act))」により、ビジョンを推進します。

4. ビジョン見直しのポイント

将来にわたる持続可能な農林水産業の展開に向け、都市近郊の立地を活かし、地域の経済と雇用を支える基幹産業化に向けた取組を推進します。

特に、社会情勢の変化や現場の声等を踏まえ、①ポストコロナ社会を見据えた販売力強化と需要の喚起、農山漁村地域の活性化、②効率化・高品質化を進める農林水産業のスマート化、③担い手農家、兼業農家、非農家など多様な人材が地域の農業を支え合う地域協働体制の構築、④県産品のブランド力強化、輸出拡大等を重要な課題として捉え、また、SDGs(持続可能な開発目標)の目標設定も考慮しながら施策を展開します。

【産業政策と地域政策の連携・循環】



5. めざす姿

「 みけつくに 御食国ひょうご令和の挑戦 ～ 都市近郊の立地を活かした 農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展 ～ 」

農業のめざす姿

1 大消費地に近接する優位性を活かして、水稲単作中心の作付けから、施設野菜等の高収益作物を組み合わせた経営の複合化を拡大し、**地域を支える農業の基幹産業化が進展**

2 環境制御技術を導入した施設園芸やドローンによるセンシング技術等の**スマート農業が進展**し、農業の生産性・収益性が飛躍的に向上

3 農業経営体の専門化や組織化・法人化が進展。多角化経営等により経営基盤が強化されることにより、**雇用就農者の増加や経営継承が進展**



4 農地の有効利用や水路等の維持管理体制など、集落ごとに将来ビジョンが描かれ、担い手経営体、JA出資法人、自給的農家、非農家等による協働活動のもと、**持続可能な地域農業が展開**

5 パイプライン化や大区画のほ場整備が進み、良好な生産基盤が確保されるとともに、担い手に農地が集積されることにより、**大規模経営体の育成が進展**

6 農林水産物のブランド力強化が進み、国内外市場に向けた**県産農林水産物の流通・販売が拡大**

畜産業のめざす姿

1 畜産経営体の規模拡大や先進技術の導入の促進等により安定的な生産体制が確立され、国内外で高まる需要に対応した**但馬牛・神戸ビーフの生産拡大が進展**

2 搾乳ロボット等のスマート機械の導入等により、酪農経営の省力化及び飼養管理技術の高度化が進み、**後継者や新規就農者が増加**



3 衛生管理の強化により、口蹄疫やCFS(豚熱)、鳥インフルエンザ等**重大家畜伝染病の発生・まん延防止の取組が徹底**

4 神戸ビーフをはじめとする**県産ブランド畜産物が、国内外で高い評価を得て、需要がさらに拡大**

林業のめざす姿

1 多様性に富み、恒常的に健全な森林を維持するため、林業経営に適した人工林では、森林所有者の依頼を受けた森林組合や林業事業者による間伐や主伐・再造林が計画的に行われ、適正な森林整備と木材生産を通じた**森林資源の循環利用が進展**

3 ICT技術を活用した森林組合や林業事業者の林業生産性が向上し、森林大学校や林業労働力確保支援センターで林業技術・技能を習得した新規就業者が即戦力として現場の第一線で活躍

2 奥地等で条件不利地にある人工林など林業経営に適さない森林では、森林の公益的機能の高度な発揮に向け、**森林環境譲与税などを活用した間伐や「災害に強い森づくり」が展開**

4 SDGsの取組と連動した店舗やオフィス、中高層建築物などの木造・木質化の推進や、木質バイオマス発電向け燃料用材の安定供給に加え、海外への木材製品の輸出等による**県産木材の利用が拡大**



水産業のめざす姿

1 漁業にとって望ましい海域の栄養塩環境等のもと、漁場整備の推進や増殖場の機能回復・強化、積極的な種苗放流などの取組により、**豊かで美しい海が再生**

3 経営感覚の優れた意欲のある漁業経営者の育成により、**次世代の漁業の担い手が確保**

2 科学的な資源管理に基づいた漁船漁業や環境にあった養殖業により、**漁業の持続性が確保**

4 漁業のスマート化等の導入により、生産性の向上と労働環境の改善が進むとともに、海域特性に応じた漁業経営の強化が図られ、**収益性の高い力強い漁業が確立**



ひょうご農林水産ビジョン2030概要

農林水産ビジョン2030のめざす姿

めざす姿 みけつくに 御食国ひょうご 令和の挑戦

～ 都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展 ～

新型コロナウイルスの影響を乗り越え、販売チャネルの多様化を図り経営基盤を強化した経営体が増加しています。また、UJIターン、二地域居住に対する関心の高まりに各地域が積極的に対応することにより地域が活性化しています。

さらに、SDGsの理解が深まり、都市近郊の立地を活かして実需者や消費者と直接結びついた持続可能な力強い農林水産業が展開されています。近年多発する自然災害への対応として防災・減災対策が進み、農福連携や農泊など「農」と多様な分野との連携による新たな取組が県内に広がり、県民が安心して暮らせる活力ある地域が創出されています。

加えて、ひょうごの「農」がもたらす恵みが県民はもとより国内外でも享受され、ひょうごの「農」にかかわるすべての人々の健康で豊かな暮らしに結びついています。

：新型コロナウイルスの影響を踏まえた施策のキーワード

基本方向

I 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

スマート化による効率化、産品毎のブランド力の強化、多様な人材が農業を支え合う地域協働体制の構築、販売チャネルの多様化、海外市場の開拓等により、**基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開**をめざす。

農業

都市近郊の立地を活かし、施設野菜など野菜の生産拡大や、農業の法人化と経営力の強化、企業参入の促進による次代を担う担い手の育成、農地の集積集約化等を進め、実需と結びついた競争力の高い農業の展開をめざす。

畜産業

但馬牛繁殖雌牛の増頭による但馬牛・神戸ビーフの生産体制の強化、需要に応じた生乳生産の増産等を進め、安全・高品質な畜産物の生産強化をめざす。

林業

人工林の適正な経営管理のもと、県産木材の利用促進を図り、植林・保育・伐採・利用の林業サイクルが継続する資源循環型林業の構築をめざす。

水産業

適正な栄養塩管理等による豊かで美しい海の再生、経営感覚に優れ意欲ある漁業者等の育成による収益性の高い力強い漁業の確立をめざす。

[推進項目] 主な取組

1 スマート化による新しい農林水産業の実現

効率化・高品質化に向けたスマート化

①低コストで導入可能な兵庫型スマート農業技術の開発・実証 ②スマート農林水産業の導入推進(搾乳ロボット、森林クラウドシステム、漁場環境情報システム等) ③スマート農業機械の共同利用等の支援

2 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開

①高度環境制御技術の導入等による競争力の高い施設園芸産地の育成 ②高温対策や需要と直結した米の安定生産の推進 ③法人化と法人経営の強化による持続的な経営体の育成 ④収入保険制度農業共済制度への加入や制度資金の活用による経営の安定化の促進 ⑤農作業の分業化による副業的な農作業の従事者や地域の多様な人材の確保 ⑥地域ぐるみによる新規就農者の確保定着支援 ⑦「人・農地プラン」の実質化やオペレーター等の育成等による集落営農の組織化と経営力の強化 ⑧企業による大規模な農業参入の促進 ⑨野生動物の「潜み場」対策やスマート化等による荒廃農地の発生防止・解消 ⑩地域の農業を支え合う持続可能な協働体制の確立(いきいき農地バンク方式、リモコン式草刈機の導入等) ⑪農家と消費者が連携し相互に支え合う地域支援型農業(CSA※)の推進 ⑫農地の集積・集約化及び農地の大区画化やパイプライン化の推進 ⑬人と環境にやさしい環境創造型農業の拡大

※CSA:Community Supported Agriculture

3 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化

①牛舎整備や繁殖雌牛の導入支援等による但馬牛増頭の推進 ②但馬牛肥育マニュアル等を活用した高品質な牛肉等の安定生産の推進 ③但馬牛・神戸ビーフのブランド力の強化(神戸ビーフ館、但馬牛博物館) ④牛舎・機器の整備支援等による生乳生産の拡大 ⑤高品質な堆肥生産と耕畜連携推進

4 木材利用の拡大と資源循環型林業の推進

①CLTの活用や燃料用チップの安定供給などによる県産木材の利用推進 ②人工林のソーニングによる木材生産と環境保全の調和のとれた計画的な森林整備の推進 ③県立森林大学の充実による新規林業就業者の確保育成 ④低コストで効率的な主伐・再造林の普及モデルの展開

5 豊かな海と持続的な水産業の実現

①漁業者による海底耕うん等による浅場や藻場等の生物生息環境の保全・回復 ②環境改善が期待出来る種苗等の放流による新たな栽培漁業の展開 ③漁場現場での長期研修等の支援による漁業者の確保育成 ④漁業者の所得向上に向け収益性の高い養殖業・漁船漁業の確立

6 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上

ブランド戦略の推進、ECサイト等による販路開拓、輸出促進

①産品が持つ優位性(魅力)を明確にしたブランド戦略の策定・実践の推進 ②ECサイトの活用や兵庫県認証食品のプロモーション強化 ③神戸ビーフ、県産米、日本酒等の輸出促進 ④生産から消費まで結びつけるフードチェーンづくりと高付加価値化の推進 ⑤農家による直販の推進

7 食の安全を支える生産体制の確保

①GAP(農業生産工程管理)や農場HACCPの考え方に基づく衛生管理体制の導入推進 ②重大家畜伝染病の発生・まん延防止(口蹄疫や豚熱、鳥インフルエンザ等)



高度な環境制御技術を導入したトマト生産(加西市)



新規参入者の牛舎整備(加古川市)



主伐後に行われる植林作業(再造林)(朝来市)



栄養塩回復のための調査(動物プランクトン採取)

II 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出

地域ぐるみの共同活動や地域資源の活用などによる中山間地域の農村コミュニティの活性化や、災害に強い安全・安心な農山漁村の暮らしの確保、防災機能・公益的機能など森林の機能向上等により、**県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出**をめざす。

8 特色を活かした活力ある地域づくりの推進

UJIターン、定住・二地域居住

①棚田の多面的機能の維持と地域の賑わいづくりの推進 ②UJIターン施策と連携した定住・二地域居住や就農促進 ③野生動物の個体数管理による農林業被害の軽減対策の推進 ④多面的機能支払制度・中山間地域等直接支払制度を活用した農業生産活動等の推進 ⑤バイオマスを活用した地域活性化の推進 ⑥内水面における水産資源の維持と地域活性化の推進

9 農山漁村の防災・減災対策の推進

①ため池の定期点検・巡回点検の実施やそれに伴う改修整備・廃止の推進 ②治山ダム整備等による計画的な危険地区の解消 ③漁港施設の長寿命化等の推進

10 豊かな森づくりの推進

①森林環境譲与税を活用した森林管理の徹底 ②針広混交林への誘導や危険木伐採等による災害に強い森づくりの推進



漏水・耐震対策を実施したため池(三木市)

III 「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実

「楽農生活」のさらなる推進や農福連携等多様な分野との連携の強化により、ひょうご五国の特徴ある多自然地域や農林水産業の維持・活性化、県産農林水産物の安全・安心で安定的な供給体制の強化により、「農」の恵みによる**県民(生活者)の健康で豊かな暮らしの充実**をめざす。

11 食と「農」に親しむ楽農生活の推進

楽農生活、半農半X

①楽農生活の意義の理解促進 ②田園回帰に伴う定住・二地域居住 や半農半X志向による楽農生活実践の拡大 ③地域楽農生活センターの全県への拡大

12 「農」と多様な分野との連携強化

農山漁村地域への観光の推進

①農林漁業者と福祉事業所とのマッチング促進による農福連携の推進 ②グリーン・ツーリズムの推進 ③マリン・ツーリズムの推進

13 県民への農林水産物の安定供給と県産県消の推進

県産県消(地産地消)、食育

①卸売市場を通じた安定供給の確保 ②県産県消の推進(直売活動)の支援、おいしいごはんを食べよう県民運動、学校給食での県産物の利用促進、食育、魚食普及



親子農業体験教室(兵庫県農生活センター・神戸市西区)

第3部 2021年度施策の概要

1. ビジョン2030施策体系と2021年度予算

【めざす姿】

【基本方向】

【推進項目】

【推進方策】

第3部

2021年度施策の概要

御食国ひょうご 令和の挑戦

都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展

I
農林水産業の展開
基幹産業として持続的に発展する

1. スマート化による新しい農林水産業の実現

459,394千円

2. 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開

8,831,452千円

3. 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化

520,408千円

4. 木材利用の拡大と資源循環型林業の推進

33,100,943千円

5. 豊かな海と持続的な水産業の実現

2,204,444千円

6. 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上

772,727千円

7. 食の安全を支える生産体制の確保

179,797千円

46,069,165千円

- ① スマート農業の展開
- ② スマート畜産業の展開
- ③ スマート林業の展開
- ④ スマート水産業の展開

- ① 本県の強みを活かし需要と直結した生産の新展開
- ② 次代を担う経営力の高い担い手の育成
- ③ 農地利用の最適化と効率的な生産基盤の確立
- ④ 地域の多様な人材が支え合う持続可能な地域協働体制の確立
- ⑤ 環境創造型農業（人と環境にやさしい農業）の取組拡大

- ① ひょうごの畜産を支える多様な担い手の確保
- ② 但馬牛の増頭と但馬牛・神戸ビーフ生産拡大
- ③ 牛乳・乳製品の生産基盤強化
- ④ 高品質な鶏卵・鶏肉・豚肉の安定生産
- ⑤ 高品質な堆肥の生産と広域流通・耕畜連携の推進

- ① 県産木材の利用拡大と加工流通体制の強化
- ② 森林資源の循環利用と林業経営の効率化

- ① 豊かで美しい海の再生と水産資源の適正管理
- ② 漁業の担い手確保と経営力の強化

- ① 更なるブランド戦略の展開
- ② フードチェーンづくりと高付加価値化の支援
- ③ 新たな価値の創出

- ① 安全で適正な農薬使用の推進
- ② 生産段階における適正な生産工程・衛生管理等の導入拡大
- ③ 畜産農場におけるHACCP対応や畜産GAPの取得の推進
- ④ 口蹄疫や豚熱、鳥インフルエンザ等重大家畜伝染病の発生・まん延防止
- ⑤ 安全安心な二枚貝の流通に向けた貝毒監視体制の整備

II
地域の創出
県民が安心して暮らせる活力ある

8. 特色を活かした活力ある地域づくりの推進

7,179,306千円

9. 農山漁村の防災・減災対策の推進

12,202,848千円

10. 豊かな森づくりの推進

6,415,082千円

25,797,236千円

- ① 中山間地域における地域活性化の推進
- ② 野生動物の管理や被害対策の推進
- ③ 農村地域の多面的機能発揮の促進
- ④ 都市農業を核とした地域づくりの推進
- ⑤ バイオマスの活用を通じた地域活性化の推進
- ⑥ 内水面における水産資源の維持と地域活性化の推進

- ① ため池災害の未然防止とため池避難対策
- ② 山地防災・土砂災害対策の推進
- ③ 漁港の耐震化と津波・高潮防災対策の推進

- ① 森林の適正管理の徹底による公益的機能の維持・向上
- ② 森林の防災機能の強化を図る「災害に強い森づくり」の推進
- ③ 森林病害虫被害対策の推進と保安林制度等の適正運用
- ④ 県民総参加による森づくりの推進

III
「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実

11. 食と「農」に親しむ楽農生活の推進

115,376千円

12. 「農」と多様な分野との連携強化

70,488千円

13. 県民への農林水産物の安定供給と県産県消の推進

185,673千円

371,537千円

- ① 令和の時代のライフスタイルの提案
- ② 楽農生活に誘い、定着を図る仕組みづくり
- ③ 楽農生活をサポートする体制づくり

- ① 農福連携の取組強化
- ② 観光分野との連携強化

- ① 卸売市場を通じた安定供給の確保
- ② 県産県消の推進
- ③ 食品に対する消費者の信頼の確保

2. 推進方策の概要と2021年度の重点施策

【推進方策の概要】

【2021年度の重点施策】

ICTやセンシング技術、自動化技術など先端技術を活用し、各地域の営農条件等に対応したスマート化を推進します	・ひょうごスマート農業の推進 P.12
多様な自然環境と消費地に近接する立地を活かし、実需と結びついた競争力の高い農業を展開します	・地域における農地管理の強化 P.12
神戸ビーフ館の開設や但馬牛の日本農業遺産の認定を契機とし、神戸ビーフ、但馬牛のさらなる需要を喚起します	・但馬牛・神戸ビーフの需要拡大 P.12
県産木材の利用を促進し、植林・保育・伐採・利用の林業サイクルが継続する「資源循環型林業」を構築します	・県産木材利用拡大キャンペーンの展開 P.13
漁場整備や増殖場の機能を回復・強化し、積極的な種苗放流等により、豊かで美しい海を再生します	・豊かで美しい瀬戸内海の創生 P.13
県産農林水産物について、それぞれの産品が持つ優位性（魅力）を明確にし、国内・海外市場をターゲットに流通・販売の拡大を図ります	・新たな需要に対応した県産食品の販売促進 P.13
生産者と連携して、食の安全性を確保するとともに、持続可能な生産体制を強化し、県民に信頼される食の安定供給を推進します	・重大家畜伝染病対策の実施 P.14
田園風景や地域のお祭りなどの地域資源の活用や、地域ぐるみで環境保全に取り組むことにより、集落機能の維持等を推進します	・地域住民と共生するひょうごの都市農業の推進 P.14
近年頻発化する局地的な豪雨や台風、近い将来に危惧される南海トラフ等巨大地震に備えるため、安全・安心な農山漁村づくりを推進します	・ため池の防災・減災対策の推進 P.14
森林を県民共通の財産と位置づけ、県民緑税などを活用した、森林の適正管理と災害に強い森づくりにより、森林の公益的機能の維持・向上を推進します	・災害に強い森づくりの推進 P.15
県民一人ひとりの「楽農生活」が充実し、さらには県民の取組が地域や世代を超えたつながりや広がりを推進します	・地域楽農生活センターの開設支援 P.15
「農」と福祉や観光など他分野との連携を強化し、農福連携やグリーン・ツーリズム等の取組の展開により、農山漁村の活性化を推進します	・農福連携の推進 P.15
卸売市場をはじめとした流通システムのより一層の強化や、県産県消の推進により消費者と生産者がともに支え合う関係を構築します	・地域直売所の整備促進 P.15

3. 2021年度の重点施策

重点施策1 ひょうごスマート農業の推進

農業の省力化や労働環境改善、経営安定等を目指すため、ICT等の先端技術を活用したスマート技術の導入を支援します。

【取組内容】

①産地導入モデルの確立・普及推進(露地栽培)

業者や農機メーカー、行政等で構成するコンソーシアムは、あらゆる農機を試験的に使用し、効果を確認することにより、産地における省力化や高品質化等に結びつく農機を選定(1年目)

併せて、スマート農機導入時の収量等を新たに検証し、産地導入モデルを構築(2年目)

②統合環境制御システム導入の支援(施設園芸)

施設園芸における収益性向上と経営安定化を図るため、新たな環境制御ハウスの導入等を支援

③牛舎施設整備及びスマート機械導入等の支援(畜産)

収益力強化や規模拡大に取り組む畜産クラスターの中心的経営体に対し、牛舎整備、家畜導入、施設整備に関する経費を支援 等



▲ドローンによる農業散布実演会
(丹波市)

重点施策2 地域における農地管理の強化

持続可能な地域農業の構築に向け、農地所有者や担い手等の協働により、守るべき農地の再生・有効活用を推進します。

【取組内容】

①効率的な農地耕作状況の把握

衛星データ等を活用し、効率的に農地の耕作状況を把握するモデルを構築

②農地活用施策等のコーディネート

コーディネーターが地域の積極的な話し合いを促し、守るべき農地の再生・有効活用に向けた各種施策の活用を提案

③新たな担い手を呼び込むための支援強化

(公社)ひょうご農林機構の一時的な農地保全管理により担い手の円滑な引き受けを促進、地域による草刈作業の省力化を支援、新たな担い手の地域定着に向けたサポート体制を情報発信



▲コーディネーターによる地域の話し合い

重点施策3 但馬牛・神戸ビーフの需要拡大

国内外での神戸ビーフの需要拡大を図るため、但馬牛の特長をPRし、他県産の牛肉ブランドとの差別化を推進します。

【取組内容】

①海外プロモーションの開催支援

但馬牛・神戸ビーフ応援大使の岡崎氏(サッカー日本代表)や大畑氏(元ラグビー日本代表)によるSNS等を活用したプロモーション活動を支援

②国内プロモーションの開催支援

観光ガイドや神戸肉流通推進協議会の指定登録店を対象とした神戸ビーフセミナーの開催を支援



▲神戸ビーフセミナー(神戸ビーフ館)

重点施策4 県産木材利用拡大キャンペーンの展開

県産木材の需要を喚起するため、県産木材を活用した住宅の建築・リフォーム工事費について、工務店を通じて施主に還元するキャンペーンを展開します。

区分	新築住宅の建築	住宅リフォーム
事業主体	ひょうご森づくりサポートセンター（工務店への間接補助）	
補助対象	県内に事業所を有する工務店	
補助要件	県産木材を30%以上使用	木質化面積が30㎡以上
補助額	・30%以上 200千円/件	100千円/件
	・50%以上 300千円/件	
	・80%以上 500千円/件	
補助件数	150件	150件



▲県産木材がふんだんに活用された木造住宅

重点施策5 豊かで美しい瀬戸内海の創生

豊かで美しい瀬戸内海を創生するため、海底耕うんや施肥試験等を推進します。

【取組内容】

① 総量削減計画の改定に向けた検討

令和3年度の計画改定に合わせ、工場・事業所からの栄養塩供給増加に向け、総量規制基準値の緩和を検討

② 瀬戸内海環境改善海底耕うん等の推進

近年の瀬戸内海の貧栄養化を踏まえ、豊かな海の再生を目指す取組を一層強化・加速させるため、漁業者による海底耕うん及び施肥試験を支援

③ 施肥試験・モニタリングの推進

海域での施肥による生物生育効果の検証・モニタリングを支援 等



▲漁業者による海底耕うん（明石市地先海域）

重点施策6 新たな需要に対応した県産食品の販売促進

県産農林水産物・加工食品の全国ブランド化や販売促進のため、ECサイトを活用した情報・購入機会の提供や、首都圏から全国への情報発信を強化します。

【取組内容】

事業主体：ひょうごの美味し風土拡大協議会

① 生産者等のECサイト販売力強化

まとめサイト「御食国ひょうご」のWeb解析結果を活用した研修会を開催

② まとめサイト「御食国ひょうご」の魅力向上対策

まとめサイトの魅力向上のため、シェフ等が県産食材をPRする動画を作成 等



▲兵庫の美味しいものまとめサイト「御食国ひょうご」

重点施策7 重大家畜伝染病対策の実施

豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の重大家畜伝染病の発生予防対策と発生に備えた危機管理体制を強化します。

【取組内容】

① 豚熱侵入防止対策の実施

豚熱の発生を防止するため、豚へのワクチン接種や野生イノシシへの経口ワクチンを散布

② 高病原性鳥インフルエンザ対策の実施

鳥インフルエンザの発生を防止するため、全養鶏場への消石灰配布や飼養衛生管理基準の遵守指導並びに発生に備えた防疫訓練等を実施等



▲養豚農場におけるワクチン接種

重点施策8 地域住民と共生するひょうごの都市農業の推進

地域住民と共生する都市農業を振興するため、兵庫県都市農業振興基本計画に基づき、都市農業を核とした地域づくりを支援します。

【取組内容】

① 都市農業機能発揮モデル事例の創出

農業者と地域住民が都市農地でともに農作業や防災空間としての活用を検討するなど、都市農業の機能発揮に向けた活動を支援

② 都市農業の活性化

市街化区域内農地を有する26市町において、都市農業の研修会や学習講座等を開催



▲地域住民による農作物収穫体験(尼崎市)

重点施策9 ため池の防災・減災対策の推進

頻発化・激甚化する豪雨に備え、農村における安全・安心な暮らしを確保するため、ため池の防災・減災対策を推進します。

【取組内容】

① ため池適正管理の促進

特定ため池の管理対策を促進する「ため池保全サポートセンター」の運営経費を支援し、地元管理者による要改修ため池等の適切な管理体制を整備

② ため池整備の推進

ため池防災工事特措法(R2.10施行)を受けて策定した「防災工事推進計画」に基づき、決壊リスクの高いものから改修整備や廃止工事を着実に推進



▲ため池講習会の開催(多可町 室谷池)

重点施策 10 災害に強い森づくりの推進

森林の防災機能の向上を図るため、県民緑税を活用し、災害に強い森づくり(第4期対策)を進めます。

【取組内容】

① 緊急防災林整備事業

危険渓流域の森林を対象に、渓流沿いの危険木の除去や災害緩衝林の造成、土留工の設置等により、森林の防災面の機能を向上

② 針葉樹林と広葉樹林の混交整備事業

樹種、樹齢が異なる水土保持能力の高い森林をつくるため、高齢人工林を部分伐採し、その跡地の広葉樹の植栽等を支援 等



▲危険渓流での土砂・流木対策(姫路市)

重点施策 11 地域楽農生活センターの開設支援

県民による「農」の学びや体験の場を身近なものとするため、楽農生活推進の全県拠点「兵庫楽農生活センター」との連携のもと、地域での楽農生活を推進します。

【取組内容】

地域楽農生活センター開設支援事業

楽農生活に係る情報発信、楽農生活の拡大を目的とした体験イベントの開催、栽培講座の開設を支援

栽培講座	ビギナー講座	ステップアップ講座
目 標	野菜等栽培の基礎的な知識・技術習得	家庭菜園や市民農園で野菜等を栽培するための知識・技術習得
講 座 数	年間概ね10コマ以上 (1講座当たり連続性のある3コマ以上)	年間概ね15コマ以上 (1講座当たり連続性のある5コマ以上)



▲野菜栽培講座(佐用町)

重点施策 12 農福連携の推進

農業分野の働き手の確保と生産性の向上、あわせて障害者の社会参画を実現するため、農福連携のモデルを創出する取組を推進します。

【取組内容】

① 相談窓口の設置

農業経営体からの相談対応等をワンストップで実施する相談窓口を設置

② 普及啓発の推進

農福連携に取り組むきっかけづくりのため、好取組事例等を紹介するセミナーを開催 等



▲農福連携意見交換会(神戸市)

重点施策 13 地域直売所の整備促進

県産農林水産物の購入機会を拡大するため、県産農林水産物の直売所の設置・拡充を支援します。

【取組内容】

① 地域直売所整備促進事業

直売所の開設・拡充や直売所向けの生産活動に必要な機械等の整備費用を支援

② 直売活動アドバイザー派遣事業

直売活動を実施または計画する生産者グループ等に販売方法への助言を行うアドバイザーを派遣



▲陳列を工夫した直売所(香美町)

農林水産ビジョン2030の主な施策とSDGsとの関連

「ひょうご農林水産ビジョン2030」のめざす姿(御食国ひょうご令和の挑戦～都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展)とSDGs(持続可能な開発目標)は、農林水産業・農山漁村を含め「持続可能な地域づくり」をめざす観点で合致しており、また、それぞれは2030年を目標年に定めている点でも共通しています。

本県の農林水産施策をSDGsで定められた17の目標に照らし合わせると、直接結びつきの深いものや、幅広い視点において関連性が浮彫りになるものなど、多くの施策がSDGsと繋がっています。なお、農林水産施策の主なキーワードとSDGsの目標を照らし合わせたものを右図に示しています。

本県では、「ひょうご農林水産ビジョン2030」のめざす姿の実現に向け、各般の施策を推進していきます。

「17の目標」一覧表

目標	内容
 1 貧困をなくそう	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
 2 飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、 持続可能な農業 を促進する
 3 すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
 4 質の高い教育をみんなに	全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、 生涯学習の機会 を促進する
 5 ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等 を達成し、全ての女性及び女児の能力強化を行う
 6 安全な水とトイレを世界中に	全ての人々の 水と衛生の利用可能性と持続可能な管理 を確保する
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	全ての人々の、安価かつ信頼できる 持続可能な近代的エネルギー へのアクセスを確保する
 8 働きがいも経済成長も	包摂的かつ持続可能な経済成長 及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	強靱(レジリエント)なインフラ構築、 包摂的かつ持続可能な産業化の促進 及びイノベーションの推進を図る
 10 人や国の不平等をなくそう	各国内及び各国間の 不平等を是正 する
 11 住み続けられる街づくりを	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で 持続可能な都市及び人間居住 を実現する
 12 つくる責任つかう責任	持続可能な生産消費形態 を確保する
 13 気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策 を講じる

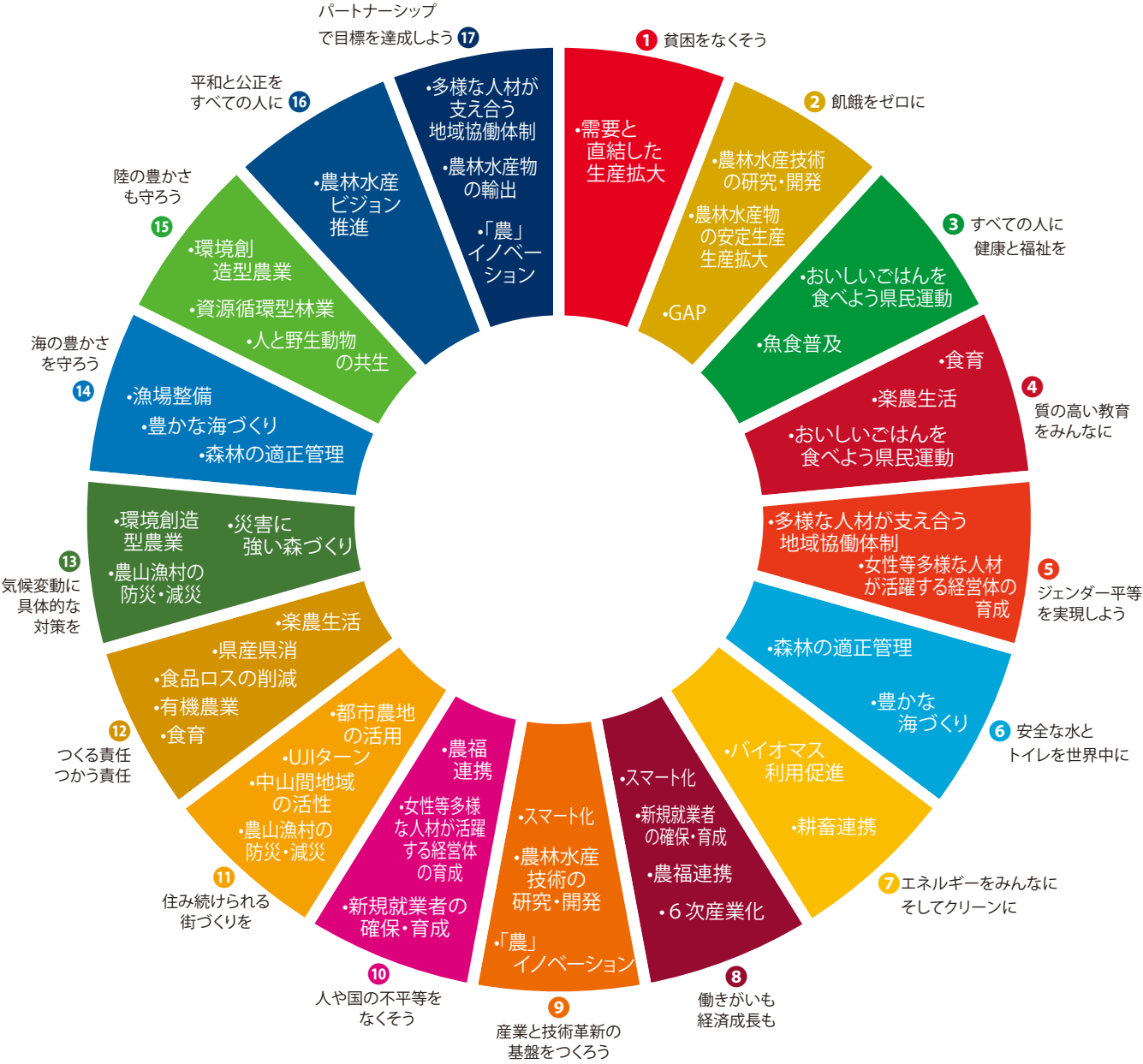
目標

内容

14	海の豊かさを守ろう	持続可能な開発のために 海洋・海洋資源を保全 し、持続可能な形で利用する
15	陸の豊かさも守ろう	陸域生態系の保護 、回復、持続可能な利用の推進、 持続可能な森林の経営 、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の 阻止・回復 及び 生物多様性の損失を阻止 する
16	平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて 効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築 する
17	パートナーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、 グローバル・パートナーシップを活性化 する

出典：総務省HP

農林水産ビジョン2030
 主な施策とSDGsの17の目標の関連図



兵庫県

令和3年3月

編集／兵庫県農政環境部

神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL.078-341-7711(代表) FAX.078-362-4458(総合農政課)